

教科(科目)	教科(科目名) 公共	単位数	2単位	学年(コース)	全学科 1学年
使用教科書	実教出版『 高等学校 公共 』				
副教材等	東京法令出版『テーマ別資料 公共2022』				

1 学習目標

人間と社会のあり方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会に有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的な主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としてのあり方生き方の自覚や、公共的空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2 指導の重点

- ① 現代社会の諸課題となっている基礎的知識についての習得を目指します。
- ② 知識の活用として、世界に関わる諸指標(グラフ等)を読み取る力の習得を目指します。
- ③ グラフ等から分かったことを考察できる力、文章や言葉で表現できる力の習得を目指します。
- ④ 映像資料を積極的に活用し、習得した知識や思考力をさらに伸ばそうとする態度の育成を目指します。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 現代社会に起こっている諸課題についての基本的な知識が定着している。 現代社会に起こっている諸課題についての様々な諸指標を読み取る技能が定着している。 	<ul style="list-style-type: none"> グラフや映像資料等を使用して、現代社会の諸問題について、主体的に考え判断しようとしている。また、その判断を、文章や発表を通じて表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを社会に生かそうと、授業での様々な活動について、積極的に参加しようとしている。 授業等で得た知識や思考力等を、様々な場面で表現しようとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会に起こっている諸課題についての基本的な知識が定着している。 現代社会に起こっている諸課題についての様々な諸指標を読み取る技能が定着している。 	<ul style="list-style-type: none"> グラフや映像資料等を使用して、現代社会の諸問題について、主体的に考え判断しようとしている。また、その判断を、文章や発表を通じて表現しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを社会に生かそうと、授業での様々な活動について、積極的に参加しようとしている。 授業等で得た知識や思考力等を、様々な場面で表現しようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> 授業の態度や課題や発表などへの取り組みの観察 レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 定期考査や小テスト などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> 授業の態度や課題や発表などへの取り組みの観察 レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 定期考査や小テスト などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> 授業の態度や課題や発表などへの取り組みの観察 レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 などから評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	第1部 1章1節 青年期と社会参画	6	教科書 資料集 (適宜) 映像資料等を 活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの体験を振り返り、自らを成長させる人間としてのあり方生き方を理解する。 ・地域社会の等の様々な集団の一員として生きていることを考察し、文章等で表現する。 ・公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとする。 	a b c	ノート・プリント の記述の点検 小テスト等の実施
5	2節 宗教・思想・伝統文化と社会	3	教科書 資料集 (適宜) 映像資料等を 活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの価値観の形成とともに他者の価値観を尊重できる混在である事を理解する。 ・地域社会の等の様々な集団の一員として生きていることを考察し、文章等で表現する。 ・公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとする。 	a b c	ノート・プリント の記述の点検 小テスト等の実施
	中間考査	1			a, b	
6	2章1節 倫理的な 見方考え方	5	教科書 資料集 (適宜) 映像資料等を 活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・思考判断の手掛かりとして、幸福の重視や行為の動機を重視する考え方を理解する。 ・先達の理論を活用して、現実社会での諸課題の解決方法を思考し、文章等で表現する。 ・現代社会の諸問題に見られる課題の解決を視野にして、主体的に社会に関わろうとする。 	a b c	ノート・プリント の記述の点検 小テスト等の実施
	3章1節 社会の基本 原理と憲法の考え方	6	教科書 資料集 (適宜) 映像資料等を 活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の諸原理について条文を踏まえて理解する。 ・現代日本の諸問題を日本国憲法の条文と照らし合わせて考察し、文章等で表現する。 ・日本国憲法を踏まえて、現代社会の諸問題を主体的に解決しようとする。 	a b c	ノート・プリント の記述の点検 小テスト等の実施
7	期末考査	1			a, b	

8	3章1節 社会の基本 原理と憲法の考え方	2	教科書 資料集 (適宜) 映像資料等を 活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の諸原理について 条文を踏まえて理解する。 ・現代日本の諸問題を日本国憲 法の条文と照らし合わせて考 察し、文章等で表現する。 ・日本国憲法を踏まえて、現代 社会の諸問題を主体的に解決 しようとする。 	a b c	ノート・プリント の記述の点検 小テスト等の実 施	
	9	第2部 1章1節 法の意義と司法参加	7	教科書 資料集 (適宜) 映像資料等を 活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・法の意義や役割などを具体的 な事例を基に理解する。 ・現実社会の諸課題について、 主体的に解決するためにどの ような法律が必要か思考・判断 する。 ・具体的な社会の諸問題を解決 しようとする。 	a b c	ノート・プリント の記述の点検 小テスト等の実 施
		2章1節 民主社会と政治参加	6	教科書 資料集 (適宜) 映像資料等を 活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題にまつわる諸資 料を収集し、まとめる技能を身 につける。 ・やがて主権者となる存在とし て、現代の諸課題の解決に向け て協働する中で、解決策などを 構想する。 ・主権者となる存在として、政 治参加などを主体的に行おう とする。 	a b c	ノート・プリント の記述の点検 小テスト等の実 施
	10	中間考査	1			a, b	
		11	2章2節 国際政治の動向と平 和の追求	6 2	教科書 資料集 (適宜) 映像資料等を 活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題にまつわる諸資 料を収集し、まとめる技能を身 につける。国際社会における我 が国の役割などについて、現実 社会の事例や課題を基に理解 する。 ・やがて主権者となる存在とし て、現代の国際社会で課題とな っている事柄の解決に向けて 協働する中で、解決策などを構 想する。 ・国家主権や国際社会における 我が国の役割などの問題につ いて主体的に社会に関わろう とする。 	a b c

	3章1節 市場経済の仕組み	6	教科書 資料集 (適宜) 映像資料等を 活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・経済主体として自立するために必要な情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身につける。 ・経済的な諸問題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら情報を基に思考し、協働活動などを通して解決策などを考察する。 ・市場経済の仕組みや財政活動についての諸課題について、主体的に解決しようとする。 	a b c	ノート・プリント の記述の点検 小テスト等の実施
12	期末考査	1			a, b	
	3章1節 市場経済の仕組み	2	教科書 資料集 (適宜) 映像資料等を 活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・経済主体として自立するために雇用や労働に関わる問題や必要な情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身につける。 	a	ノート・プリント の記述の点検 小テスト等の実施
	3章2節 豊かな社会の実現	3		<ul style="list-style-type: none"> ・雇用や労働、社会保障に関わる問題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら情報を基に思考し、協働活動などを通して解決策などを考察する。 	b	
1		3		<ul style="list-style-type: none"> ・雇用や労働、社会保障の問題や諸課題について、主体的に解決しようとする。 	c	
	3章3節 国際経済の動向と格差の是正	1	教科書 資料集 (適宜) 映像資料等を 活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・経済のグローバル化と国際間の相互依存の深まりについて理解する。 	a	ノート・プリント の記述の点検 小テスト等の実施
2		3		<ul style="list-style-type: none"> ・経済のグローバル化と国際間の相互依存の深まりについて、合意形成や社会参画を視野に入れながら情報を基に思考し、協働活動などを通して解決策などを考察する。 	b	
				<ul style="list-style-type: none"> ・経済のグローバル化と国際間の相互依存の深まりに関わる諸問題について主体的に解決しようとする。 	c	
	期末考査	1			a, b	
3	第3部 持続可能な社会の実現に向けて	3	教科書 資料集 (適宜) 映像資料等を 活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を振り返り、現代社会の諸問題を解決する方法を諸資料を活用して自ら考察し、自分の言葉で表現する。 	b, c	レポート作成

計 70時間 (50分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」 時間	B「書くこと」 時間	C「読むこと」 時間
-----------------	--------------------	---------------	---------------

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

6 課題・提出物等

- ・ 授業内で使用しているプリントやノートの提出。
- ・ グループ学習などを実施した際に自分の意見などをまとめたレポートや発表したもの
- ・

7 担当者からの一言

「公共」は今回の学習指導要領によって誕生した科目です。今までの公民系の科目で目指したものを継承しながらグループ学習やICTを活用した学習を取り入れたいと考えています。この学びを通じて、皆さんが社会と積極的に関わることができる人間になってもらいたいと考えています。

(担当：)